

天然水処理凝集材「ドロンパ」による 姫路城西御屋敷跡庭園における池水の浄化 ～循環浄化システム～

概要

世界遺産姫路城の西隣に位置する本格的な日本庭園である好古園。約1万坪の庭園は池泉回遊式の[御屋敷の庭] 本格的数寄屋建築の茶室・双樹庵のある[茶の庭]などで構成されています。江戸の情緒を醸し出すそのたたずまいは、時代劇や大河ドラマのロケ地としても使われています。この池水は開園当初から濁りやアオコの発生、悪臭など多くの問題に悩まされてきました。現地の地下水性状が養分豊富な事に加え、鯉の糞尿や植物の肥料、等多くの汚濁要因があり、様々な水処理技術が試されました。その結果、浄化の総合力から、アステックのドロンパによる循環・凝集処理システムが採用されています。

成果

	PH	窒素 (mg/l)	リン (mg/l)
原水	8.6	0.74	0.04
処理水	8.7	0.53	0.01以下

濁りを
約 **90%** 除去！



現地の様子



鯉の皮膚病が低減、清流にしか生えない水草が群生し、夏は蛍が飛び交う庭園になりました。
年間を通じて、観光に耐えうる美しい庭園の池水を実現しています(24時間365日循環水処理実施中)
定期的なプラント管理や水処理資材の安定的な供給により、現地職員負担も大幅に軽減されました。

・天然水処理材「ドロンパ」を用いた、循環水処理システムを構築
・生物への影響を最小限に抑えるドロンパによる処理

⇒ドロンパは原水のpH,ECの値を変えない、天然の水処理凝集材です。



装置小屋遠景



ドロンパ処理部



池水処理フロー

